

令和 2 年度  
地域管理経営計画等の  
策定・変更(案)の概要

---

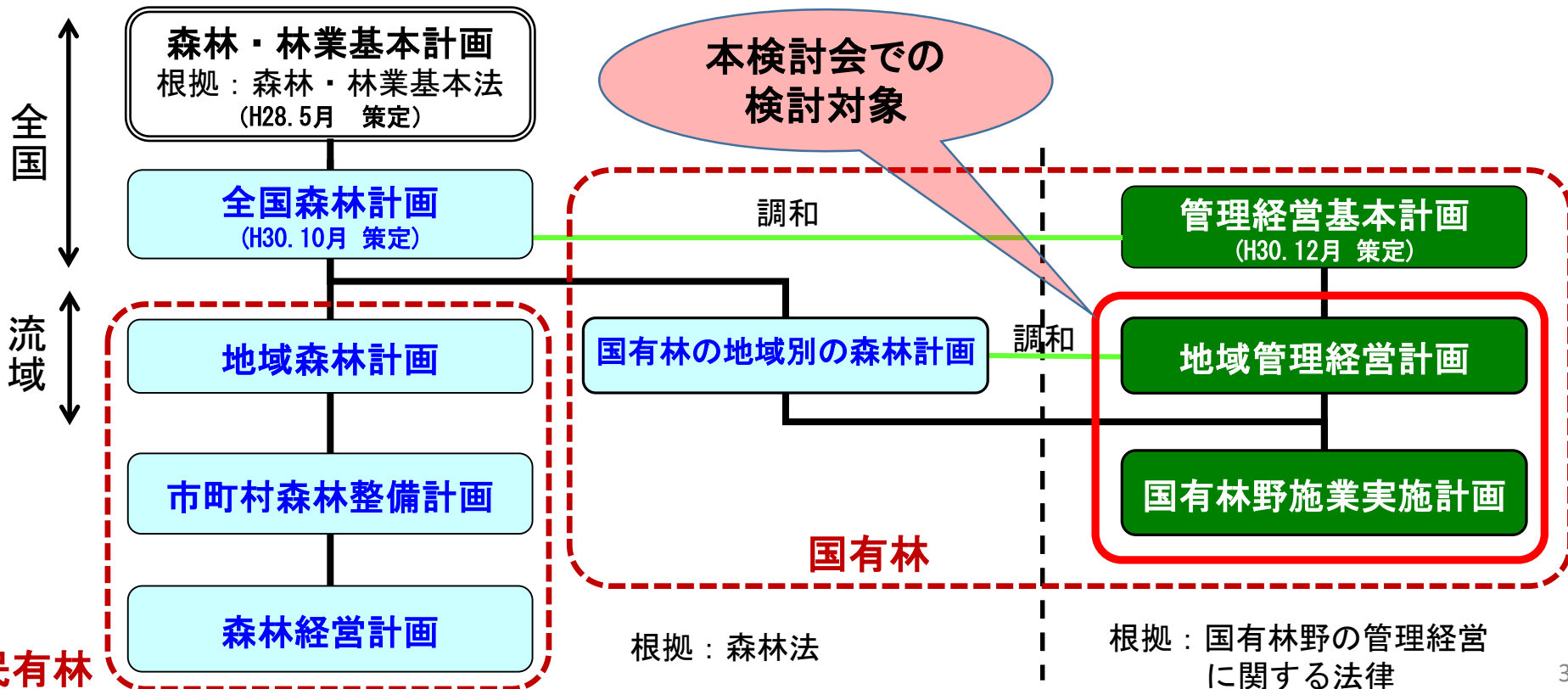
令和 3 年 3 月  
四国森林管理局

# I 計画制度について

---

# 森林計画の体系

- ◆ 地域管理経営計画は、管理経営基本計画に即して、国有林の地域別の森林計画との調和を図りつつ、森林計画区ごとに、国有林野の管理経営の考え方や伐採等の事業総量等を定める計画で、計画期間は5年間
- ◆ 国有林野施業実施計画は、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即して、森林計画区毎に、国有林野の箇所別の伐採、更新、林道整備、治山事業等を定める計画で、計画期間は5年間



# 全国森林計画について

- ◆ 全国森林計画は、森林の整備及び保全の目標、伐採立木材積や造林面積等の計画量、施業の基準等を示すもので、農林水産大臣が、5年毎に定める15年を1期とする計画

# 国有林の地域別の森林計画について

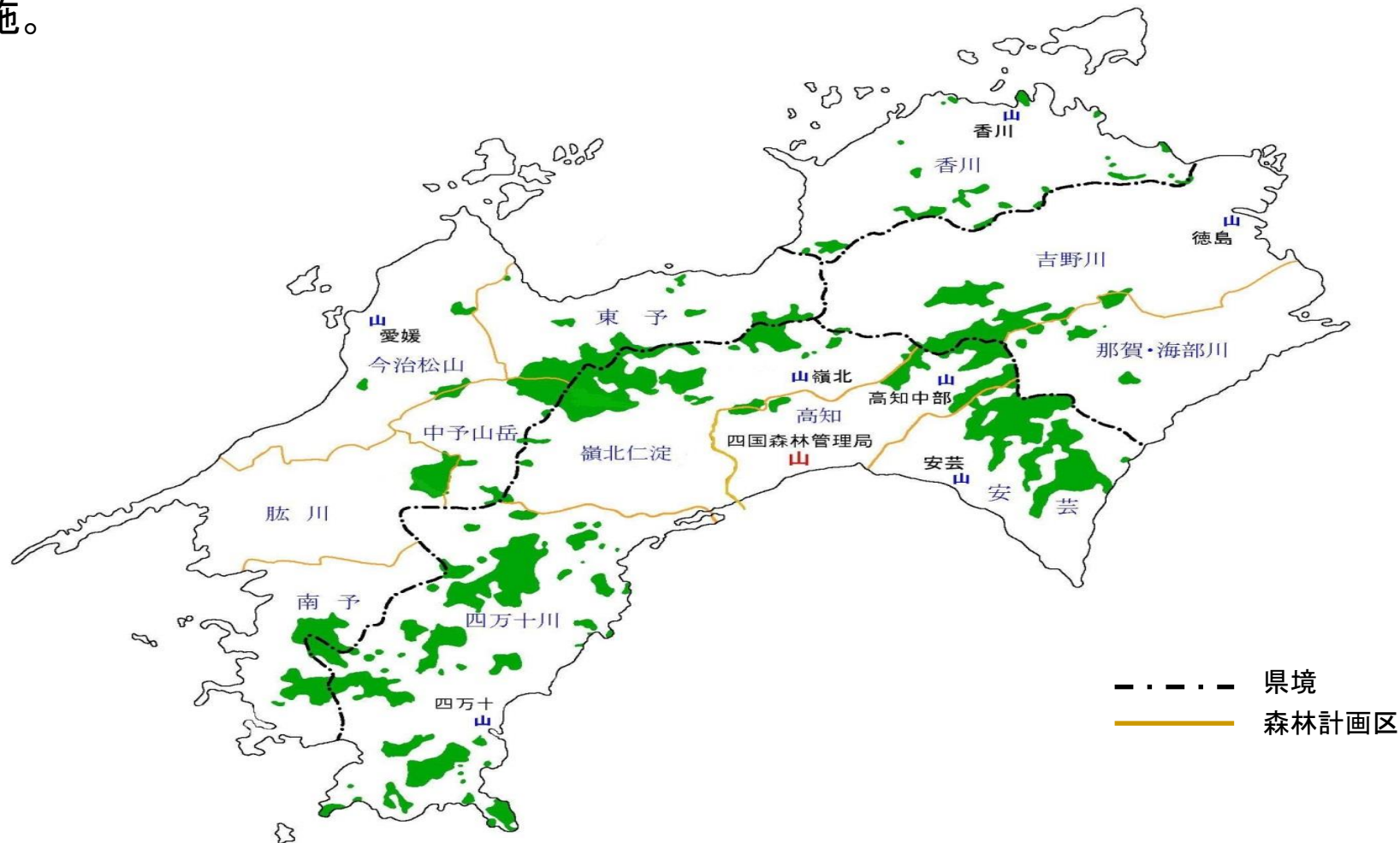
- ◆ 国有林の地域別の森林計画は、全国森林計画に即して5年毎に定める10年を1期とする計画

# 管理経営基本計画について

- ◆ 管理経営基本計画は、国有林野の管理経営に関する基本方針を明らかにするため、農林水産大臣が5年毎に定める10年を1期とする計画

# 地域管理経営計画等について

- ◆ 全国の158の森林計画区のうち、四国森林管理局管内には12の森林計画区
- ◆ 管内の全ての森林計画区に係る地域管理経営計画等について、管理経営基本計画の策定内容を反映させるため、国有林の地域別の森林計画との調和を図りつつ、策定・変更を実施。



# (地域管理経営計画等について)

- ◆ 令和2年度に計画を策定する森林計画区は、香川森林計画区(香川県)、今治松山森林計画区(愛媛県)の2森林計画区
- ◆ その他の9森林計画区の地域管理経営計画等についても、主・間伐量等について所要の変更を実施

計画策定年度一覧

策定年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
徳島県	那賀・海部川			吉野川	
香川県			香川		
愛媛県	中予山岳	東予	今治松山	南予	肱川
高知県	嶺北仁淀	高知		四万十川	安芸



R2年度に実施した「国有林の森林計画に関する地区懇談会」  
(吉野川、南予、四万十川計画区)

# 地域管理経営計画の計画事項

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

2 国有林野の維持及び保存に関する事項

3 林産物の供給に関する事項

4 国有林野の活用に関する事項

5 公益的機能維持増進協定に基づき国有林野と一体的に行う  
民有林の整備及び保全に関する事項

6 国民の参加による森林の整備に関する事項

7 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

## Ⅱ 地域管理経営計画の概要 (共通事項)

---



# 1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## (1) 国有林野の管理経営の基本方針

- ◆ 国有林野の管理経営は、①公益的機能の維持増進を旨とし、②その組織・技術力・資源を活用し、③林業の成長産業化の実現に向け、④関係行政機関と連携を図りつつ、⑤国民各層の理解と協力を得ながら、本計画に基づき適切に行う。
- ◆ 国民共通の財産である国有林野を名実ともに「国民の森林」とするよう、以下の取組を実施。

ア 生物多様性の保全    イ 森林の生産力の維持    ウ 森林生態系の健全性と活力の維持  
エ 土壌及び水資源の保全と維持    オ 炭素循環への森林の寄与  
カ 社会的・経済的便益の維持及び増進    キ 持続可能な経営のための枠組み

## ア 生物多様性の保全

- ・適切な間伐の実施、針広混交林化、複層林化、長伐期化など
- ・保護林や緑の回廊におけるモニタリング調査等を通じた適切な保全・管理など

## イ 森林の生産力の維持

- ・列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システム等による間伐など
- ・コンテナ苗等を活用し伐採から造林までを一体的に行う一貫作業システム、造林コストや花粉の少ない森林への転換など
- ・林道と森林作業道等との適切な組合せによる路網の計画的な整備など

## ウ 森林生態系の健全性と活力の維持

- ・森林病虫害被害の早期発見・早期防除など
- ・四国森林管理局が開発した小型囲いわなを用いたニホンジカの捕獲方法をはじめとする効果的な捕獲技術の普及活動
- ・市町村、猟友会、森林管理署等との協定締結によるニホンジカ被害対策の推進など



「天然力を活用した森林づくり」  
現地勉強会（嶺北署）



生産性向上現地勉強会  
（高知県大豊町民有林）



列状間伐現地検討会（四万十署）



シカ被害対策現地検討会（香川所）

## エ 土壌及び水資源の保全と維持

- ・保安林等における治山施設の設置、機能の低下した森林の整備等を行う治山事業を推進など
- ・大規模な山地災害発生時にヘリコプターやドローンを活用して被害状況を調査、山地災害対策緊急展開チームを現地に派遣など

## オ 炭素循環への森林の寄与

- ・多様な伐期による伐採、その後の確実な更新を図り、保育及び間伐の適切な実施を推進
- ・治山事業等における間伐材等の利用の推進など

## カ 社会的・経済的便益の維持及び増進

- ・企業、学校、NPO等の多様な主体と連携し「ふれあいの森」や「遊々の森」の設定
- ・「レクリエーションの森」の活用等の推進

## キ 持続可能な森林経営

- ・地域管理経営計画の策定等に当たり計画案についてパブリックコメント制度を活用、計画案の作成前の段階から広く地域住民等の意見を聴く。
- ・国有林モニター制度の活用など



徳島県との災害時情報収集演習



山地災害対策緊急展開チームによる測量作業(高知県大豊町)



間伐材を利用した治山ダム工(嶺北署)



「遊々の森」での活動の様子(嶺北署)



国有林モニター勉強会(徳島署)

## (2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

- ◆ 個々の国有林野を重視すべき機能に応じて機能類型区分を行い、それぞれの機能の発揮に資する森林施業を行う。

※ 詳細は、地域管理経営計画の別冊「管理経営の指針」に定める。

### 山地災害防止タイプ (土砂流出・崩壊防備エリア)



- ・ 下層植生の発達を促すため、適度な陽光が林内に入るように密度管理を行う。
  - ・ 必要に応じて、土砂の流出、崩壊を防止する治山施設等を整備する。
- (気象害防備エリア) ・ 遮蔽能力が高く、抵抗力が強い森林を育成する。

### 自然維持タイプ



- ・ 自然環境の保全を第一とした管理経営を行うこととし、原則として自然の推移に委ねる。

### 森林空間利用タイプ



- ・ 景観の向上や野外レクリエーションに考慮した伐採を行うなど森林の手入れを適切に行う。

### 水源涵養タイプ



- ・ 浸透、保水能力の高い森林土壌を維持し、根系や下層植生の良好な発達が促進されるよう、森林の整備を行う。

※ 四国森林管理局管内には、快適環境形成タイプの森林はない。

# (3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項

- ◆ 流域林業活性化協議会等の場を通じて、県、市町村との連携を図りながら、組織・技術力・資源を活用し、民有林の経営に対する支援等に取り組む。

## ① 林業の成長産業化等に向けた技術開発・実証と普及

- ・ 産学官の下、林業の低コスト化等に資する技術開発の推進
- ・ 早生樹の活用等による低コスト造林技術やICT等を活用した効率的な森林管理・木材生産手法の開発・実証など



ドローンを活用した業務の効率化



研究機関等と連携して取り組む「鷹山集約化試験団地」(香川所)



植栽2年後のコウヨウザン(愛媛署)



OWL活用による林分調査(香川所)



林道被災箇所全体の撮影(安芸署)



シカ防護柵の点検(四万十署)

## ② 林業事業体の育成

- ・ 総合評価落札方式や複数年契約 など
- ・ 森林経営管理制度の定着化に向けた林業経営者の受注機会拡大への配慮など
- ・ 一貫作業システムによる主伐・再造林、列状間伐、冬期下刈など、事業の実施やニーズを踏まえた現地検討会の開催など



冬下刈現地勉強会(高知中部、嶺北署)



架線系作業システム現地検討会(愛媛署)

### ③ 民有林と連携した施業や民有林材との協調出荷の推進

- ・ 森林共同施業団地の設定等を推進
- ・ 森林共同施業団地における路網や土場の共同利用、民有林材との協調出荷など



森林共同施業団地での現地検討会  
(四万十署)



民有林材と国有林材が集積する連携土場の整備(左:伊尾木土場、中:松葉川土場、右:竹島土場)

### ④ 森林・林業技術者等の育成と森林総合監理士(フォレスター)等による技術支援

- ・ 森林総合監理士(フォレスター)等の育成
- ・ 市町村林業担当者研修や現地検討会の開催など
- ・ 大学や林業大学校等関係機関との連携など



森林官による市町村の林務担当者  
への出前講座(愛媛署)



とくしま林業アカデミーでのコンパス  
測量実習(徳島署)



高知大学生の応募による間伐実施現場  
でのインターンシップを実施(安芸署)



県職員、林業事業者を対象に林業  
成長産業化構想研修を開催  
(森林技術・支援センター)

### ⑤ その他

- ・ 治山事業の計画的な推進



土留工による荒廃地の整備(高知中部署)

## 2 国有林野の維持及び保存に関する事項

### (1) 巡視に関する事項

- ◆ 地元自治体、地域住民等と協力・連携して、山火事防止、盗採防止、不法投棄防止等の啓発活動等に取り組む。
- ◆ 境界を定期的・計画的に巡視し、破損した境界標の補修・整備に努める。



ドローンを活用した遠望による境界巡視(高知中部署)



地域住民、地元自治体と連携した清掃活動(香川所・屋島国有林)

### (2) 森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項

- ◆ 松くい虫等の森林病虫害による被害に対しては、早期発見・早期防除、迅速な駆除に努める。

### (3)特に保護を図るべき森林に関する事項

#### ①保護林

- ◆ 我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な森林については、「森林生態系保護地域」として、原則として自然の推移に委ねた管理を行う。
- ◆ 地域固有の生物群集を有する森林については、「生物群集保護林」として原則として自然の推移に委ねた管理を行う。
- ◆ 希少な野生生物の生育・生息に必要な森林については、「希少個体群保護林」として、設定目的に応じた適切な保護・管理を行う。

#### ②緑の回廊

- ◆ 生物多様性の保全や気候変動の影響への適応等の観点から、保護林を中心とした森林生態系ネットワークの形成を図るため、「緑の回廊」を設定し、野生生物の自由な移動の場として保護。
- ◆ 四国森林管理局では、民有林との「四国山地緑の回廊」の連携に係る協定を締結し、モニタリング調査の結果や森林の取扱い等に関する情報を共有することで、「四国山地緑の回廊」の充実を図り、森林生態系の保全に努める。

R1保護林モニタリング調査  
で確認された動物  
(滑床山外4保護林)



ホンドモモンガ



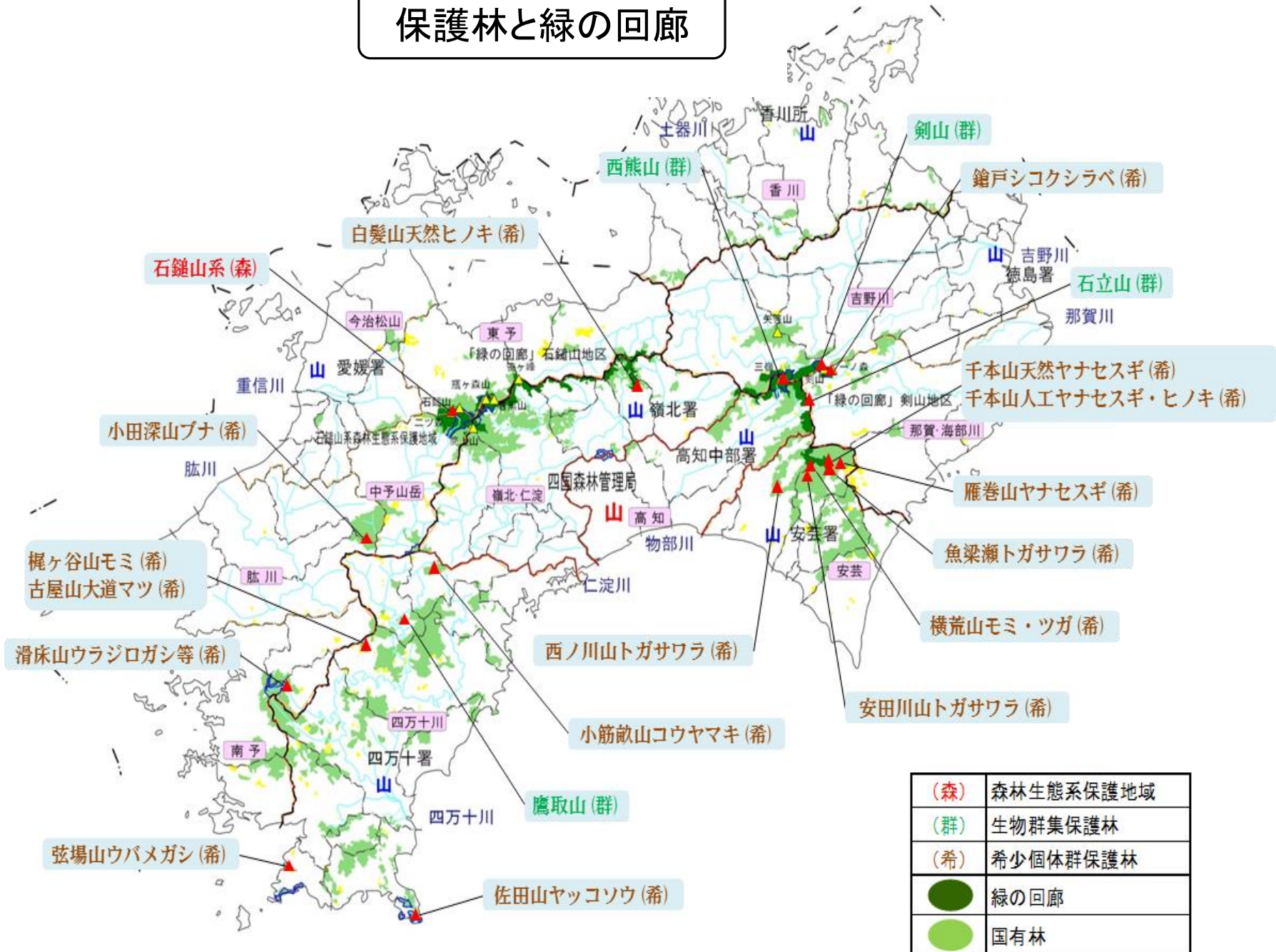
ニホンリス



クマタカ



# 保護林と緑の回廊



(森)	森林生態系保護地域
(群)	生物群集保護林
(希)	希少個体群保護林
●	緑の回廊
●	国有林

## (4) その他必要な事項

- ◆ ニホンジカ等の森林被害については、関係行政機関、狩猟者団体、森林組合、森林所有者等とも協力して、計画的な捕獲や防護柵の設置等を推進。
- ◆ 四国森林管理局が開発した小型囲いわなを用いたニホンジカの捕獲方法をはじめとする効果的な捕獲技術の普及活動等に努める。



小型囲いわな

(ニホンジカ捕獲)



(ノウサギ捕獲)



大型囲いわな



(地元森林組合や猟友会へ捕獲技術の支援)



(ボランティアの協力による防護ネットの補修)

### 3 林産物の供給に関する事項

#### (1) 木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

- ◆ 機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる国有林材の持続的・計画的な供給に努める。
- ◆ 路網と高性能林業機械等を組み合わせた低コストで効率的な作業システムによる列状間伐、コンテナ苗等を活用し伐採から造林までを一体的に行う一貫作業システム、複数年契約による事業発注に取り組むとともに、下刈りの省力化や冬期下刈り等に取り組む。
- ◆ 地域の林業・木材産業の活性化に資するよう、民有林管理への貢献等に取り組む需要者と協定を締結して需要先へ直送するシステム販売等に取り組む。

高性能林業機械による車両系作業システム（徳島署）



スイングヤードによる集材作業



フォワーダによる素材運搬

架線集材による伐採と造林の一貫作業システム（嶺北署）



架線による木材と枝条の搬出



架線による苗木の運搬

## (2) その他必要な事項

- ◆ 庁舎等の整備において木材の積極的な利用に努めるとともに、林道事業・治山事業において、間伐材等を積極的に利用する。



国で初めてCLTを本格活用した嶺北森林管理署庁舎(平成30年完成)



木製型枠を使用した谷止工(愛媛署)



林道に施工した木柵工(香川所)

# 4 国有林野の活用に関する事項

## (1) 国有林野の活用の推進方針

- ◆ 地域の社会的経済的状況、住民の意向等を考慮して、公用・公共用施設や、公衆の保健のための活用等に資するよう、国有林野の活用を積極的に推進。

## (2) 国有林野の活用の具体的手法

- ◆ 「レクリエーションの森※」の管理経営に当たっては、民間活力を活かした施設整備の推進、地元自治体を核とした管理運営協議会の活用等に努める。

※ 「レクリエーションの森」とは、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林として、国民に提供している森林

- ◆ 特に観光資源としての活用の推進が期待される「日本美しい森 お薦め国有林」に選定されたレクリエーションの森については、外国人旅行者を含む観光客へ向けた情報発信や重点的な環境整備を実施する。

「日本美しい森 お薦め国有林」  
(四国森林管理局では5箇所)



剣山自然休養林(徳島署)



石鎚風景林(愛媛署)



滑床自然休養林(愛媛署)



工石山自然休養林(嶺北署)



(石鎚風景林の多言語看板整備)



千本山風景林(安芸署)

## 5 公益的機能維持増進協定に基づき国有林野と一体的に行う民有林野の整備及び保全に関する事項

- ◆ 国有林に隣接・介在する民有林で、国有林の公益的機能の維持増進のため必要な場合には、民有林所有者と協定を結び、国有林と一体的に整備・保全を行う「公益的機能維持増進協定制度」の活用を推進。

## 6 国民の参加による森林の整備に関する事項

### (1) 国民参加の森林に関する事項

- ◆ 「ふれあいの森※」や「多様な活動の森※」等を活用して、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導等を行う。

※ 「ふれあいの森」とは、協定を結び、植栽、保育等の森林整備活動に提供する森林

※ 「多様な活動の森」とは、協定を結び、美化活動、森林パトロール等、森林の保全を目的とした様々な活動に提供する森林



物部川源流ふれあいの森(高知中部署)

## (2) 分収林に関する事項

- ◆ 企業等による社会・環境貢献活動としての「法人の森林」の設定等、分収林制度を活用した取組を進める。

## (3) その他必要な事項

- ◆ 「遊々の森」や学校分収林の活用、森林の有する多面的機能に関する普及啓発活動の実施、指導者の派遣や紹介等に取り組む。

※ 「遊々の森」とは、協定を結び、森林教室、自然観察、体験林業等の森林環境教育の推進を目的とした活動に提供する森林



「遊々の森ドキドキわくわくコース」(香川所)

# 7 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

## (1) 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項

- ◆ 施業指標林や試験地において、試験研究機関とも連携し、現地展示等を通じて技術の普及を図るとともに、森林施業技術の研修や検討会のフィールド、森林環境教育の場等としても活用。
- ◆ 民有林における公的管理や林業経営への普及を念頭に置き、公益的機能の高度発揮や林業の低コスト化等に資する技術開発を、産学官連携の下、より一層推進

## (2) 地域振興に関する事項

- ◆ 国有林野事業の諸活動と国有林野の多様な利活用、森林・林業再生への貢献を通じて、林業・木材産業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等に寄与するよう努める。

低コスト造林や早生樹の造林などに資する取組を1箇所に集めた「集約化試験団地」(嶺北署 葛籠谷黒滝山国有林)





## Ⅲ 策定計画区

# 香川森林計画区の国有林野施業実施 計画の概要(個別事項)

---

# 香川森林計画区の概要



- ◆ 香川県全域を包括する。森林率47%。
- ◆ 国有林野は、森林面積の9%で、その大半は讃岐山脈に分布し、一部は沿岸部と讃岐平野に分布。
- ◆ 天然林は、屋島や安戸池のほか、柏原、飯野山等周辺に分布。屋島、安戸池は瀬戸内海国立公園に指定。

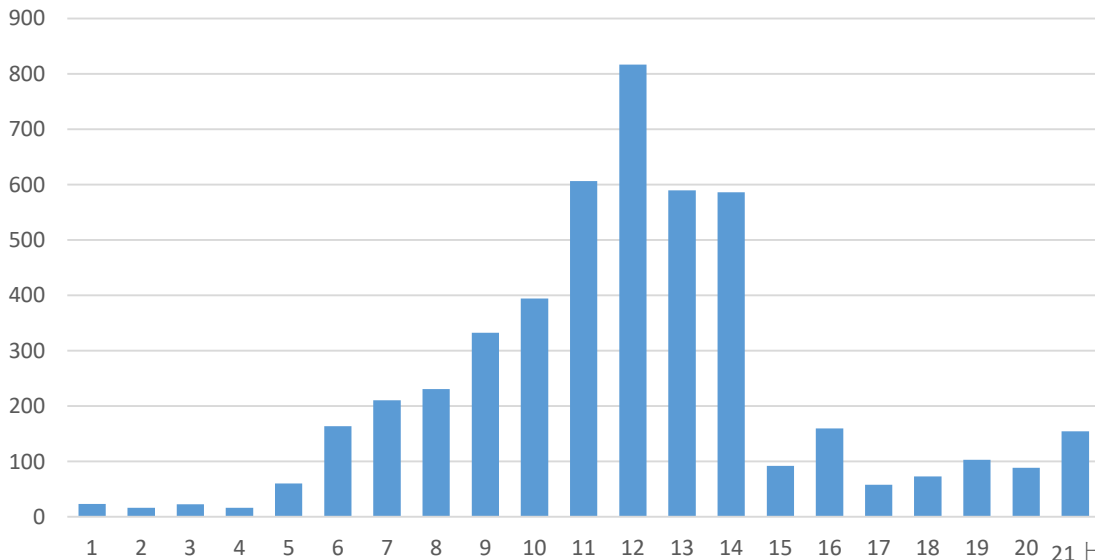
# 香川森林計画区の概要

◆ 人工林率65%、7 齢級以下が11%、8～10 齢級が20%、11～14 齢級が54%。うち57%がヒノキ。

## 計画策定の基本的な考え

- 計画区南部の徳島県境部にまとまって分布している現況の育成単層林については、自然条件等に応じて皆伐の分散化や適切な間伐を実施することにより、その維持に努める。
- また、長伐期施業による育成単層林のうち、旺盛な広葉樹の更新がみられる林分については、森林の現況や自然条件等に応じて、育成複層林施業や天然力の活用による天然生林施業に移行し、多様な森林への誘導を図ることとする。
- 国立公園に指定されている沿岸部では、レクリエーション利用を重視した自然環境の維持管理を行う。

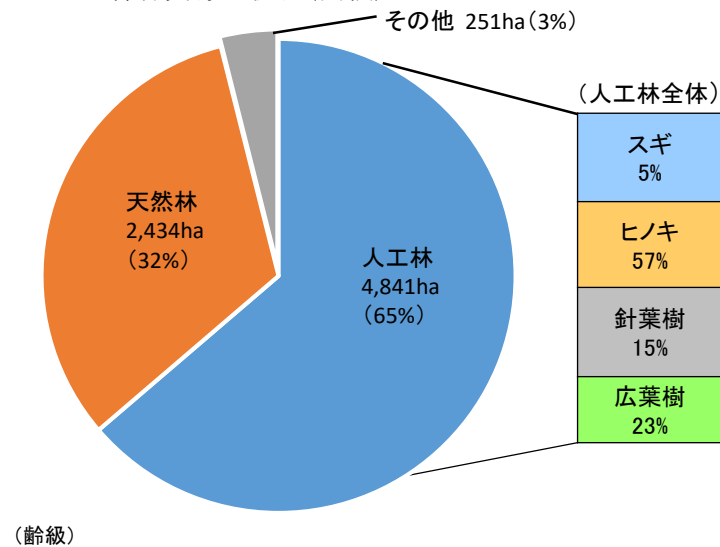
(ha) 人工林の 齢級構成 (面積)



※R3.4.1有効 国有林野施業実施計画樹立時データ

※齢級とは、森林の林齢を5年の幅でくった単位。植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1 齢級」と数える。

森林資源の状況 (面積)



※R3.4.1有効 国有林野施業実施計画樹立時データ  
※面積の「その他」は無立木地、林地以外の面積

# (香川森林計画区)

## 機能類型別面積

森林計画区	機能類型別面積 (ha)				
	山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	水源涵養 タイプ	計
香川	633 (8%)	34 (1%)	684 (9%)	6,175 (82%)	7,526 (100%)
(参考) 四国局計	21,866 (12%)	11,177 (6%)	12,772 (7%)	136,676 (75%)	182,491 (100%)

## 水源涵養タイプにおける施業方法別面積

施業方法	水源涵養タイプにおける施業方法別面積 (ha)		増減	割合
	現計画 (H28~R2年度)	新計画 (R3~R7年度)		
通常伐期・育成単層林施業	1,523	1,531	+8	101%
長伐期・育成単層林施業	1,359	1,298	-61	96%
育成複層林施業	1,158	1,160	+2	100%
天然生林施業	1,929	1,981	+52	103%

・利用期を迎えている森林資源の有効活用や多様な森林づくりの観点から、長伐期による育成単層林施業を行っている林分の一部を、通常伐期による育成単層林施業を行う林分や、育成複層林施業や天然力を活用した施業を行う林分に変更。

※ 通常伐期とは、主伐時期を、林木の利用価値を考慮した径級となる平均的な林齢以上の林齢とするもので、四国森林管理局では、スギ45年、ヒノキ50年としている。

※ 長伐期とは、主伐時期を、通常伐期のおおむね2倍の林齢とするもの。

# (香川森林計画区)

## 伐採量の現計画と実績

伐採量	計画量 (千m3)		実行量 (千m3)	
	主伐	間伐	主伐	間伐
	60	101	31(51%)	26(26%)

- ・主伐については、採算が見込めない林分について、一部伐採を見合わせたことから、実行量が計画量を下回った。
- ・間伐については、路網等の整備状況や林分状況により、一部伐採を見合わせたことなどから実行量が計画量を下回った。

## 更新の現計画と実績

更新量	計画量 (ha)		実行量 (ha)	
	人工造林	天然更新	人工造林	天然更新
	108	4	25(23%)	6(150%)

- ・人工造林については、主伐の実行減に伴い、実行量が計画量を下回った。

# (香川森林計画区)

## 保育の計画と実績

保育	計画量 (ha)			実行量 (ha)		
	下刈	つる切	除伐	下刈	つる切	除伐
	215	1	18	92(43%)	0(0%)	23(128%)

- ・保育については、下刈は現地の状況を判断し可能な限り省略したことから実行量が計画量を下回った。
- ・除伐は、必要性・緊急性の観点から実査した結果、実行量が計画量を上回った。

## 林道の現計画と実績

林道	計画量 (m)		実行量 (m)	
	開設	改良	開設	改良
	1,600	7,100	1,232(77%)	3,332(47%)

- ・林道の開設又は改良については、伐採や造林等の事業実施を踏まえ、優先度の高い路線から取り組み、概ね計画通り実行した(改良について、計画箇所数に対する実行割合は85%)。

# (香川森林計画区)

## 主な計画量

		単位	現計画 (H28~R2年度)	現計画 (R3~R7年度)	増減	割合
伐採	主伐		60千m <sup>3</sup> 170ha	79千m <sup>3</sup> 227ha	+19 +57	132% 134%
	間伐		101千m <sup>3</sup> 871ha	104千m <sup>3</sup> 869ha	+3 -2	103% 99%
更新	人工造林	ha	108	153	+45	142%
	天然更新	ha	4	26	+22	650%
林道	開設	m	1,600	2,150	+550	134%
	改良	m	7,100	6,850	-250	96%
治山事業		地区	11	17	+6	155%

- ・分収林や複層伐を行う主伐林分が増えることから主伐は現行計画比132%、間伐は長伐期による育成単層林施業を行う林分を中心に間伐適期の林分が多く同103%。
- ・主伐後は、人工造林や天然更新を着実に実施。
- ・林道開設は伐採予定箇所を中心に実施。伐採作業と並行して作業道を開設。林道の改良は、既設林道の拡幅・舗装を実施。
- ・治山事業は、近年の集中豪雨による被災箇所等で実施。

# (香川森林計画区)

## レクリエーションの森

名称・概要	面積 (ha)
屋島風景林 (瀬戸内海に突き出た溶岩台地の海岸林でナラ、カシ、マツ類やヤマザクラ等が自生。 また、源平合戦の古戦場として有名)	366
飯野山風景林 (別名讃岐富士と呼ばれる山容でナラ類、ヤマザクラ等広葉樹を中心とした森林)	102

## ふれあいの森

名称・概要	協定相手	面積 (ha)
石清尾ふれあいの森 (ボランティア等による自主的な森林整備の場を提供)	石清尾ふれあいの森 フォーラム	31

## 遊々の森

名称・概要	協定相手	面積 (ha)
遊々の森ドキドキわくわくコース (森林環境教育に適したフィールドの提供)	香川県高松市立屋島 東小学校	44
おじよもふれあいランド (森林環境教育に適したフィールドの提供)	飯山北地区コミュニ ティ推進協議会	43



## 社会貢献の森

名称・概要	協定相手	面積 (ha)
菅組 感謝の森 (企業の社会貢献活動を目的とした森林整備、保全活動の場を提供)	株式会社 菅組	2

## 巨樹・巨木

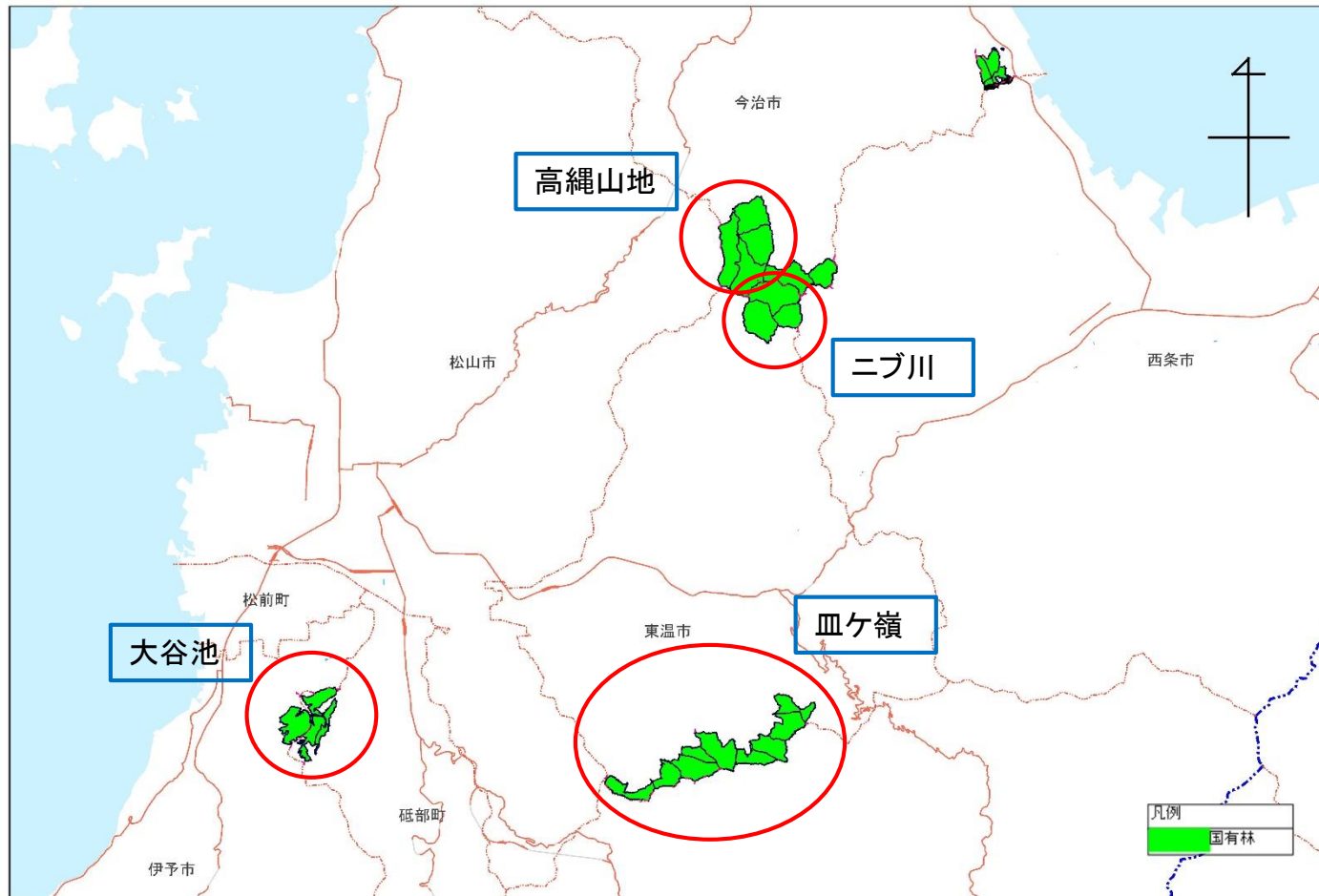
愛称・概要
「森の巨人たち100選」(大屋敷のケヤキ) (地元自治体や保護のための保全協議会によって自主的な保全活動が行われている)

## IV 策定計画区

# 今治松山森林計画区の国有林野施業 実施計画の概要（個別事項）

---

# 今治松山森林計画区の概要



- ◆ 愛媛県北部に位置する。森林率55%。
- ◆ 国有林野は、森林面積の3%で、高縄山地と皿ヶ嶺連峰にまとまって分布。
- ◆ 天然林は、皿ヶ嶺、ニブ川周辺に分布。皿ヶ嶺は県立自然公園に指定。大谷池はレクリエーションの森に指定。

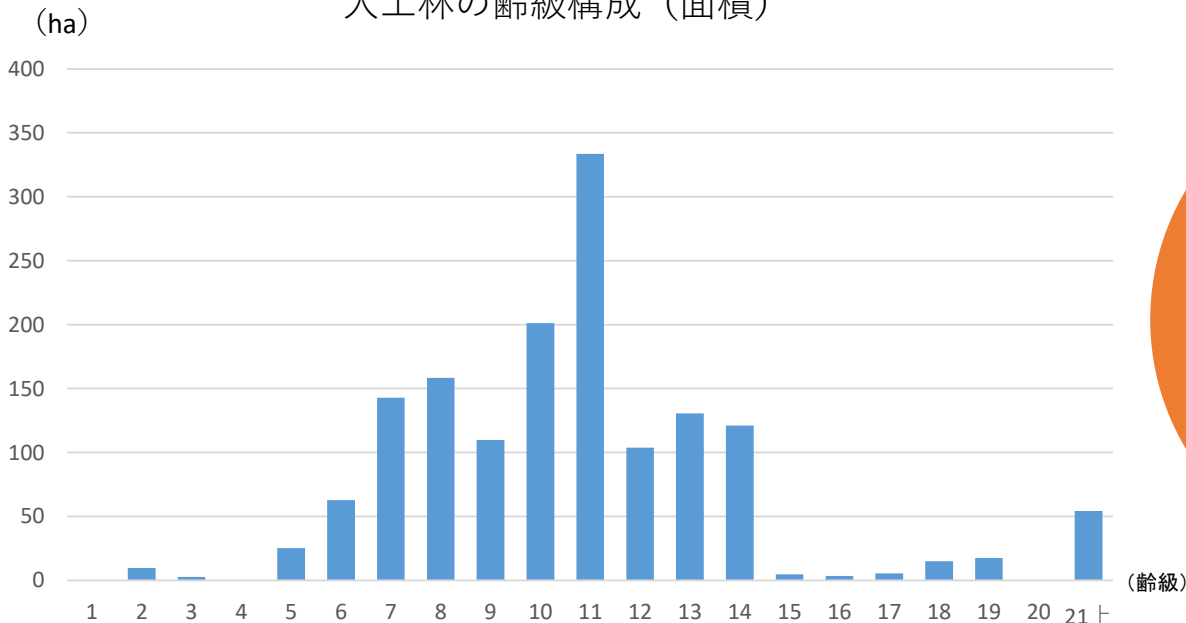
# 今治松山森林計画区の概要

- ◆ 人工林率60%、うち49%がヒノキ。人工林の7齢級以下が17%、8～10齢級が31%、11～14齢級が46%。

## 計画策定の基本的な考え

- 計画区北部の高縄山地と皿ヶ嶺連峰にまとまって分布している現況の育成単層林については、自然条件等に応じて皆伐の分散化や適切な間伐を実施することにより、その維持に努める。
- また、皿ヶ嶺連峰に分布する通常伐期や長伐期施業による育成単層林のうち、旺盛な広葉樹の更新がみられる林分については、自然条件等を踏まえて、育成複層林施業への移行による多様な森林整備を推進し、山地災害防止等の機能発揮を図ることとする。
- 風景林に指定されている大谷池周辺では、レクリエーション利用を重視した自然環境の維持管理を行う。

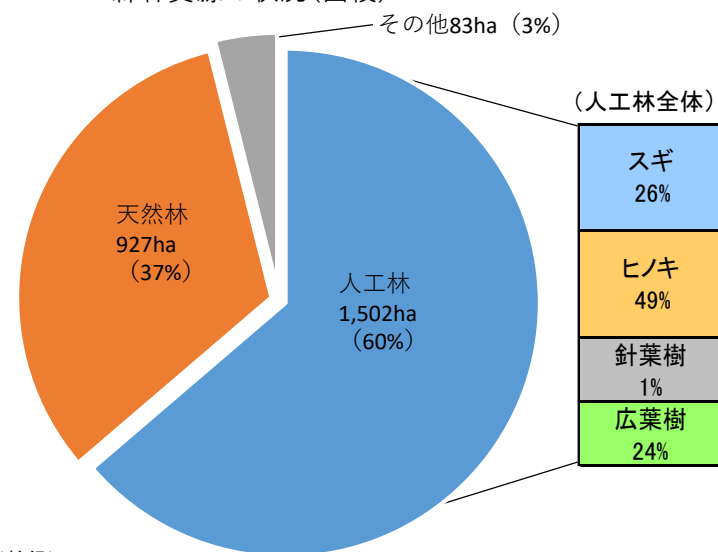
人工林の齢級構成（面積）



※R3.4.1有効 国有林野施業実施計画樹立時データ

※齢級とは、森林の林齢を5年の幅でくった単位。植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」と数える。

森林資源の状況（面積）



※R3.4.1有効 国有林野施業実施計画樹立時データ  
※面積の「その他」は無立木地、林地以外の面積

# (今治松山森林計画区)

## 機能類型別面積

森林計画区	機能類型別面積 (ha)				
	山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	水源涵養 タイプ	計
今治松山	719 (29%)	0 (—)	262 (10%)	1,531 (61%)	2,513 (100%)
(参考) 四国局計	21,866 (12%)	11,177 (6%)	12,773 (7%)	136,676 (75%)	182,491 (100%)

## 水源涵養タイプにおける施業方法別面積

施業方法	水源涵養タイプにおける施業方法別面積 (ha)		増減	割合
	現計画 (H28~R2年度)	新計画 (R3~R7年度)		
通常伐期・育成単層林施業	157	152	-5	97%
長伐期・育成単層林施業	446	345	-101	77%
育成複層林施業	503	608	+105	121%
天然生林施業	378	379	+1	100%

- ・利用期を迎えている森林資源の有効活用や多様な森林づくりの推進の観点から、通常伐期及び長伐期による育成単層林施業を行っている林分の一部を、育成複層林施業に変更。

※ 通常伐期とは、主伐時期を、林木の利用価値を考慮した径級となる平均的な林齢以上の林齢とするもので、四国森林管理局では、スギ45年、ヒノキ50年としている。

※ 長伐期とは、主伐時期を、通常伐期のおおむね2倍の林齢とするもの。

## 伐採量の現計画と実績

伐採量	計画量 (千m <sup>3</sup> )		実行量 (千m <sup>3</sup> )	
	主伐	間伐	主伐	間伐
	20	47	0(0%)	7(14%)

- ・主伐については、分収林の不落及び契約延長等により伐採を見合わせたため、実行が無かった。
- ・間伐については、路網等の整備状況や林分状況により、伐採を見合わせたため、実行量が計画量を下回った。

## 更新の現計画と実績

更新量	計画量 (ha)		実行量 (ha)	
	人工造林	天然更新	人工造林	天然更新
	26	5	0(0%)	0(0%)

- ・更新量については、主伐の未実行に伴い、更新の発生が無かった。

## 保育の現計画と実績

保育	計画量 (ha)			実行量 (ha)		
	下刈	つる切	除伐	下刈	つる切	除伐
	53	0	—	7(13%)	0(0%)	0(0%)

- ・保育については、主伐の未実行に伴い、計画期間内に更新の発生がなかったことから、実行量が計画量を下回った。

## 林道の現計画と実績

林道	計画量 (m)		実行量 (m)	
	開設	改良	開設	改良
	2,000	1,700	180(9%)	3,117(183%)

- ・林道の開設又は改良については、各事業実施のための必要性から改良工事について優先的に取り組み、計画量を上回った。

# (今治松山森林計画区)

## 主な計画量

		単位	現計画 (H28~R2年度)	現計画 (R3~R7年度)	増減	割合
伐採	主伐	千m <sup>3</sup> (ha)	20千m <sup>3</sup> 49ha	18千m <sup>3</sup> 39ha	-2 -10	90% 80%
	間伐	千m <sup>3</sup> (ha)	47千m <sup>3</sup> 283ha	60千m <sup>3</sup> 324ha	+13 +41	128% 114%
更新	人工造林	ha	26	21	-5	81%
	天然更新	ha	5	4	-1	80%
林道	開設	m	2,000	4,100	+2,100	205%
	改良	m	1,700	2,200	+500	129%
治山事業		地区	6	4	-2	67%

- ・分収林の主伐林分が減ることなどから主伐は現行計画比90%、間伐は長伐期による育成単層林施業を行う林分を中心に間伐適期の林分が多く同128%。
- ・主伐後は、人工造林や天然更新を着実に実施。
- ・林道開設は伐採予定箇所を中心に実施。伐採作業と並行して作業道を開設。林道の改良は、既設林道の拡幅・舗装を実施。
- ・治山事業は、近年の集中豪雨による被災箇所等で実施。



## レクリエーションの森

名称・概要	面積 (ha)
大谷池風景林 (人工池とアカマツ、クロマツ等の松を主体とした森林美に優れている)	165

## ふれあいの森

名称・概要	協定相手	面積 (ha)
県民参加の森 (ボランティア等による自主的な森林整備の場を提供)	愛媛県	53

## 遊々の森

名称・概要	協定相手	面積 (ha)
えひめ学生遊々の森 (森林環境教育の推進を目的とした学習・体験活動の場を提供)	えひめ学生森林 ボランティア	13

# V その他の森林計画区における 計画変更の概要

---

### 変更計画の主なポイント

- ◆ 育成複層林の取組を推進するため、面的複層林施業を新たに「管理経営の指針(地域管理経営計画の別冊)」に追加【全ての計画区】。
- ◆ 森林資源の充実具合など林分状況を踏まえ、主伐・更新量(人工造林)等を変更【南予計画区、嶺北仁淀計画区、四万十川計画区、安芸計画区】。
- ◆ 樹冠の混み具合など林分状況を踏まえ、間伐量を変更【肱川計画区、南予計画区、嶺北仁淀計画区、四万十川計画区、安芸計画区】。
- ◆ 豪雨災害等により発生した崩壊地等の安定を図るため保全施設を追加【吉野川計画区、那賀・海部川計画区、四万十川計画区、高知計画区、安芸計画区】。
- ◆ レクリエーションの森の設定見直しに伴い「寒風山風景林」(東予計画区)及び「黒尊山自然観察教育林」「土佐堂ヶ森風景林」(四万十川計画区)を廃止。
- ◆ 民有林と国有林が連携して取り組む森林共同施業団地の一部廃止及び協定面積を変更【四万十川計画区】。

# (その他の森林計画区)

## 主な変更計画量

変更項目		単位	計画区	現行計画	変更計画	増減
伐採材積	主伐	千m3 (ha)	南予	60 (121)	58 (119)	-2 (-2)
			嶺北仁淀	284 (812)	284 (807)	+0 (-5)
			四万十川	647 (1,690)	632 (1,515)	-15 (-175)
			安芸	170 (561)	173 (565)	+3 (+4)
	間伐	千m3 (ha)	肱川	107 (725)	110 (738)	+3 (+13)
			南予	285 (2,156)	286 (2,168)	+1 (+12)
			嶺北仁淀	445 (3,300)	446 (3,334)	+1 (+34)
			四万十川	1,021 (9,107)	1,024 (9,127)	+3 (+20)
			安芸	600 (5,004)	599 (4,971)	-1 (-33)

# (その他の森林計画区)

## 主な変更計画量

変更項目	単位	計画区	現行計画	変更計画	増減
更新 (人工造林)	ha	南予	64	62	-2
		嶺北仁淀	443	440	-3
		四万十川	924	820	-104
		安芸	305	307	+2
保全施設	箇所	吉野川	12	14	+2
		那賀・海部川	6	6	+0
		四万十川	39	42	+3
		高知	14	15	+1
		安芸	36	36	+0
森林共同施業団地	ha	四万十川	2,014	2,822	+808